



浜松志耀ロータリークラブ 第19回例会

開催日時: 2023年11月9日(木)午前7:30 ~ 8:30
開催場所: オークラクトシティホテル浜松 3階チェルシーの間

■ 会長挨拶 小澤会長

今日は、「ロータリーと“感動”」についてお話しさせていただきます。
最近、「人が生きるために必要なものは？」という問いに出会いました。建築家の安藤忠雄氏からの問い掛けです。ある人は一言、「それは“お金”である」と言っていました。その昔、小池百合子東京都知事は「それは“希望”である」と宣言して、新党“希望の党”を作り同士を集め国政選挙に打って出ました(結果はあまり芳しいものではありませんでしたが…)。でも私は、「それは“感動”である」と信じています。

人は皆、何らかの職(しごと)を持ち、それを業(なりわい)として生計を立てています。それが「職業」です。職業ですから、日常の職業従事がマンネリ化してきてもそれを簡単に辞めるわけにはいきません。それを継続するためには、何か「日常」(原因から生み出される結果が容易に予測できるもの)を超える「感動」(原因と結果が容易に結びつかないもの)が必要になってくるはず。職業が楽しいと思えるためには、仕事が達成した暁には予想もつかない感動があることが必要なのです。

例えば、大変困難な仕事に直面しているとき、この苦労をなんのためにするのか?という疑問を持つことがあります。でも、苦労はそれを乗り越えて成果を得たときに初めて達成感(感動)を感じるのです。簡単な仕事ではつまりません。感動を求めて敢えて無理難題にチャレンジするというところに職業従事の快感があるのではないのでしょうか。しかも、その快感はその苦労に参画する者が多いほど倍加するという論理は明白です。それは、私たちが昔読んでいた少年マンガの成功論理と同じです。少年マンガは、3つの要素が織り込まれれば必ずヒットすると言われています。1つは友情(仲間やライバルの存在)、1つは努力(目標に向けて必死に頑張ること)、1つは勝利(目標の達成)です。まるでロータリーです。

あるクラブを訪問したときのこと、そのクラブが次年度50周年を迎えるという話題になりました。そのとき、そのクラブの幹部で「準備が大変だから、式典は簡素にしよう」と発言した人がいました。これはもったいない話です。せっかくロータリーによって感動を得ることが出来るのに、自らその機会を失うことになってしまうからです。ロータリー活動は多くの感動を得ることが出来る、人生にとって貴重な快感体得活動です。ロータリーに入って良かったと思える瞬間をたくさん手にしましょう。

(第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)コーディネーターニュースより)

浜松志耀ロータリークラブは新しいクラブです。一人ひとりの努力と皆様との絆で、他のクラブに無いものを作っていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。



■ 会員卓話 吉野会員

・私の仕事: 弁護士についてお話しさせていただく。皆様からものすごく期待されるが、弁護士は何でもできるわけではない。依頼者と一緒に、証拠を集めたり情報を法的に整理したりする。

・静岡県弁護士会には約50の委員会があり、私は「雇用と暮らしに関する委員会」で生活保護や自殺対策なども担当している。

・日本での相続は「明治・民法」で位置づけられ、家の統率者の「戸主」に広い権限が与えられていた。戦後、日本国憲法が公布され、「現・民法」で従来の家督相続が廃止され、配偶者の相続権が位置づけられた。

・いろいろな相続を手がけてきたが、相続人が何代にも広がり時間と労力がかかる相続も経験した。皆様、遺言書を作って欲しい。

・来年の4月から相続登記が義務化される。3年以内に相続登記をしないと、10万円以下の過料となるので注意が必要だ。



■ 幹事報告 田淵幹事

1. 9月30日の街頭募金を、本日の例会終了後、浜松市社会福祉協議会にお届けする。
2. 次回の例会は、11月30日(木)夜間例会。Jazzコンサートのある望年会として開催する。

■ 新会員入会式 1名

・山田佳祐さん 会長より会員証やバッジ等贈呈後、山田さんから挨拶があった。

■ 米山奨学生奨学金授与

・会長より李根さんへ奨学金を授与した。李根さんより最近の活動報告等があった。

■ 近況報告 刑部会員

・ネパールのカトマンズに出張し、当地の Bagmati Kathmandu Rotary Club の例会に参加した。「今後、交流を広げたい。」と報告があった。



■ スマイル

- ①小澤会長ー山田会員入会への御礼
- ②衛藤会員ー本日の司会: 原田会員への御礼

※ビジター1名(米山奨学生: 李根さん) ※出席率: 81.8%(会場22名+BAND 5名=27名/33名)

